

8月18日(月)、4協働支援センター共催の「折鶴献呈」が行われ、地域の方々の平和への願いが託された「折鶴(約157,000羽)」を広島平和記念公園へ届け、参加者は「恒久平和」への思いを新たにしました。

今回の「折鶴献呈」実施に係り、地域の皆様には大変お世話になりました。ご協力に感謝申し上げます。



令和7年

折鶴献呈

終戦から80年…平和への思いを新たに



ゆきの灯り

第104号

令和7年9月発行

油木協働支援センター

TEL 82-0701

FAX 82-2228

生涯学習マスコット: マナビイ



長月

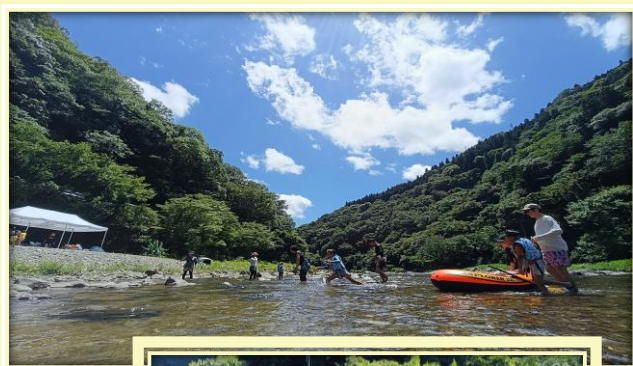
小野地域 都市農村交流会

7月27日(日)、福山市・倉敷市等から30数名の親子参加者を得て、「美味しい夏野菜カレーと川遊びの会」を開催しました。
今年で12年目となる小野の都市農村交流は春夏秋冬の年3回開催し、「地区内外から集まった参加者が同じ釜の飯を一緒に作って食べることでより深い関係人口を増やしていく」ことを目的にしています。

昨年から、遠方からの参加者向けに前泊キャンプも開催し、火を囲んでゆっくり話す場を設けることで地域出身者と所縁のない参加者で深い話ができるようになりました。
これからも、地域出身の方が地域内に住んでいなくても地域に通うことで地域を形作っていきけるように、また、所縁のない方々とも一緒に小野地域を形作っていきける関係性を目指していきたいと思っています。

小野の将来を話し合う会代表

小 埜 洋 平



災害は忘れなくてもやってくる

備えあればうれしいな

8月8日(金)、「自衛隊から学ぶ防災教室」を開催しました。(主催:油木協働支援センター 共催:神石高原町シルバー人材センター)

教室では、「やまびこクラブ油木館」の児童19名が参加し、「自衛隊広島地方協力本部・福山地域事務所」の3名の講師の方から、「防災講話・体験活動・非常食試食」を通じて、「災害が起きた時の行動」を学びました。

この体験を家庭で共有でき、「防災意識」が高まれば良いですね。



神石高原町の「お宝活用が課題です

町内は宝の山ですよ

8月4日(月)、神石高原町議会議員の藤井潤子さんと上原伸一さんが「にしかわ化石館」を訪問・視察されました。

「化石館」の展示資料や学校・地域との連携事業等、社会的価値・教育的価値についてはこれまで一定の評価は受けていますが、両議員さんには、今回の訪問・視察を通じて更に一歩踏み込んだ、「神石高原町の生涯学習推進」に力を貸していただけたらうれしいです。(町内には多くの「生涯学習遺産」があります。)



アートクラブ②



8月18日(月)、若林佐都子先生の指導で、「アートクラブ②」を開催しました。
2回連続講座の今回は、1回目に作成した素焼きの器に素焼きの素材を活かす着色や配色の工夫を学び、個性的な作品に仕上げることができました。



「RE-CREATE BASE」敷地内に設置した、「野菜等販売ロッカー」をご活用ください。
お問合せは 油木協働支援センターへ (☎ 82:0701)

「ゆき軽トラ朝市」後半日程

9月20日(土)

10月18日(土)

11月15日(土)

9:00販売開始です!



第3回ゆき軽トラ朝市

8月12日(火)、第3回「ゆき軽トラ朝市」を開催しました。今回は「お盆前」ということもあり、主に生花が店頭並び、販売開始前から待つておられた多くの皆さんが仏前・墓前用等の生花を購入されていました。
天候が心配されましたが、開催中は雨も落ちず無事終了となりました。
季節行事に必要なものが購入できて良かったです。



MSERRNTフィールド(油木スポーツ広場)は、地域の活動にも利用できます。人工芝グラウンドで、心地よい汗を流しませんか？
(きずなグラウンドゴルフ大会:令和7年6月21日)



■ものづくり教室①(8月9日)
講師:中西正一先生
地元産の麦わらを使用して「ホタル籠」を作りました。編み上げが難しかったようですが、コツをつかむと上手に仕上げることができました。
■楽描教室②(8月23日)
講師:若林佐都子先生
ヨモギ等の草汁や、抜型を使用して色を入れた「手拭い」を作りました。出来上がった「手拭い」は「暖簾」として飾りに使用できそうです。

長い夏休みが終わりました。楽しい思い出がたくさんできましたか？

8月のゆきキッズ

アマノ企業株式会社様

「地域貢献活動」でお世話になりました。(7/28~30)

「にしかわ化石館(化石魅力化プロジェクト)」が、化石発掘活動を行う「発掘現場(油木近田)」の環境整備作業が行われました。

これは、「アマノ企業株式会社による地域貢献活動」の一環で実施されたもので、作業期間中酷暑にも関わらず職員の皆様には大変お世話になりました。油木協働支援センターでは、この活動に対して感謝状を贈らせていただきました。



油木地区で「化石」が発掘できる現場が他にもあれば情報を提供してください。

オープニングミニコンサート(9/20 10:15~) 神石高原中学校総合文化部音楽コース



第3回油木匠展

期 間 令和7年9月20日(土)~28日(日)
場 所 シルトピアカレッジ図書館
主催・共催 油木協働支援センター/シルトピアカレッジ図書館



赤ヘル軍団 激闘の記憶展3

好評開催中!

いよいよ10月3日(金)まで!

場所:油木協働支援センター

分室「にしかわ」

本企画展は、令和7年8月25日(月)中国新聞にて掲載されました。

「クジラ化石」に魅せられて!!



8月9日(土)、「化石魅力化プロジェクト研修会」を開催しました。
今回は、「庄原化石集談会」(庄原市)より4名の講師を迎え、庄原市内を流れる河川から発見された「クジラ化石」にまつわる発掘活動・保存活動等の話や、発見者として化石に自分の名前が付いた会員の方の発見時の興奮の様子等、実際の当事者の方から大変面白く、興味深い話を伺うことができました。
「にしかわ化石館」も来年度は開館5周年を迎えます。「庄原化石集談会」の皆さんとの交流も進めながら、5周年に相応しい取り組みが進められたらと思います。



令和7年度「ゆきふるさとまつり」開催決定



日 時 令和7年10月26日(日)
10:00~14:00
場 所 油木シルトピアグラウンド
錦秋の油木で会いましょう!

一有害動物駆逐用火火保安講習会のお知らせ

日時 令和7年10月2日(木) 受付 17:30~ 講習会 18:30~

場所 油木コミュニティセンター

お問合せ・申し込み

油木協働支援センター(82-0701)



一心をつなごう! (参考:秋田県教育委員会・秋田県教育庁生涯学習課「家庭教育支援ガイドブック」)

心をつなごう! 家族で言葉のキャッチボール

会話はコミュニケーションの基本です。子どもの言葉を、手を止め、目を見て、受け止めてあげましょう。会話を通して、子どもの「聞いてもらえた」「分かってもらえた」「認めてもらえた」という気持ちがふくらみ、親子の信頼関係も深まります。家庭での会話がいろいろな場面にいきてきます。



どうしても手が離せない時に子どもが話しかけてきたら...

〇話を聞きたいという気持ちがあるけれど、今、話を聞くことができないとあやまり、いつ話を聞くのかを伝えましょう。その時、何の話をしたいのかだけは聞いておきます。

→ 〇約束をきちんと守り、子どもと向き合って話を聞きましょう。

子どもが話しかけてきたら、一旦手を止めましょう!

聞く時のポイント

- ① 忙しくても手を止めて子どもの顔を見て聞く。
- ② 話しの途中で口を挟まず、最後まで聞く。
- ③ 話を聞いたら、まずは気持ちを受け止めて共感する。

〇「たいへんだったんだね」「よくがんばったね」

- ④ 親の価値観を押しつけない。

×「あなたが~したからでしょ」「だから言ったでしょ」

- ⑤ 伝えたいことは「私なら~するよ」「私は~がいいと思うよ」という形で伝える。聞いてもらうことで安心感をもち、いろいろなことを話せるようになります。

→ 分かってもらうことで、正直に本音で話せるようになります。

→ 会話を通して親子の信頼関係が築けます。

